

放課後 Watching

バスケットボール部



取材当日、日本プロバスケットボールリーグの地元チーム「京都ハンナリーズ」による「京都ハンナリーズバスケットボールクリニック」が同校で開催された。憧れのプロバスケット選手の指導を真剣に聞き入る部員たち。



バスケットボール部の活動日は火・木・土の週3日。時間は限られているが、その分、集中して練習に取り組んでいる。



中2生から振り付けの指導を受ける中1生。中学生が演奏を披露する場合は、文化祭など校内が中心になるが、1年からステージに立てる機会があり、練習にも自然に熱が入る。



全国的にもめずらしい和太鼓演奏のクラブで、高校は文化系クラブのインターハイといわれる「全国高等学校総合文化祭」に府代表として毎年出場。昨年は優秀賞・文化庁長官賞を受賞している。バチを構えたポーズが凛々しい高校生部員は中学生部員の憧れだ。

太鼓部

テニス部

第二体育館の屋上に2面設けられたテニスコート。学校のそばにある桃山御陵の豊かな緑に囲まれた好環境だ。



テニス部員は男女合わせて総勢26人。中学のクラブの中では大所帯だ。

尿素の結晶を作る実験にチャレンジ。今は基礎的な実験が中心だが、ゆくゆくはコンクールに応募できるような研究をする計画。1期生は全員男子だったが、今年は女子も多数入部。



サイエンス部

京都橘

クラブ活動と学習の相乗効果で、充実した学校生活を実現

Extra Scene

6月に行われた「近畿地区中学・高校ディベート選手権」で準優勝した同校。初出場で、しかもメンバーは全員中2生ながら強豪校を抑えての快挙です。チームは昨年11月、中学教頭の杉山勉先生の呼びかけに応えた生徒有志で結成され、週1日放課後に活動してきました。「ディベートは“読む”“話す”“書く”“聞く”力がつきます。中1生の参加希望者も多く、今後が楽しみです」(中学教頭・杉山勉先生)



サッカー部



「元気よく、仲よく」が練習のモットー。「中1生が入部し、人数が揃ったので公式戦に出場できるようになったのが嬉しいです。公式戦で勝利することが目標です」とキャプテン。



2010年に中学が開校し、今年2年目を迎えた同校。中学生が学ぶ「Vコース(国公立大学進学 中高一貫コース)」は、全員が国立大学の現役合格を目標に掲げています。しかし、勉強一辺倒ではなく、学習と自主活動の両立をモットーにクラブ活動も奨励され、実際に9割以上の生徒が約20あるクラブのいずれかに所属しています。

「心身ともに成長著しいこの時期、身体を動かし、好きなことに打ち込むことは、心と体のバランスの取れた発達に極めて有効です。先輩・後輩の縦の関係や、目標に向かって仲間と努力する姿勢など、机上では学べないことを身につけてもらいたいと思っています」

(校長・稲吉陽作先生)

活動日は週3日までと決められていますが、時間が限られているからこそ、やるときはやるというメリハリが付き、学校生活全体に良い影響を及ぼしており、学習に対するモチベーションアップにもつながっています。

VコースのVは、Value(価値観)の頭文字に由来しています。学習やクラブ活動などさまざまなシーンで、生徒たちはそれぞれの、Valueを輝かせています。